

# ポーレン米国グロース株式 ファンド（資産成長型） （愛称：ベストフォーカス）

## 運用報告書（全体版） 第7期

（決算日 2024年9月30日）

（作成対象期間 2024年3月29日～2024年9月30日）

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年3月29日～2050年3月28日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アンカー・ポーレン米国株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式等の中から、厳選投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
（営業日の9:00～17:00）  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数(税引後 配当込み、円換算)		公 社 債 組 入 率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3 期末 (2022年 9月28日)	9,810	0	△ 13.8	12,305	△ 4.4	—	98.4	16,221
4 期末 (2023年 3月28日)	9,644	0	△ 1.7	12,190	△ 0.9	—	98.9	17,385
5 期末 (2023年 9月28日)	12,006	0	24.5	15,088	23.8	—	98.9	16,230
6 期末 (2024年 3月28日)	14,798	0	23.3	18,861	25.0	0.0	99.2	12,159
7 期末 (2024年 9月30日)	14,225	0	△ 3.9	19,517	3.5	0.0	99.7	9,613

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

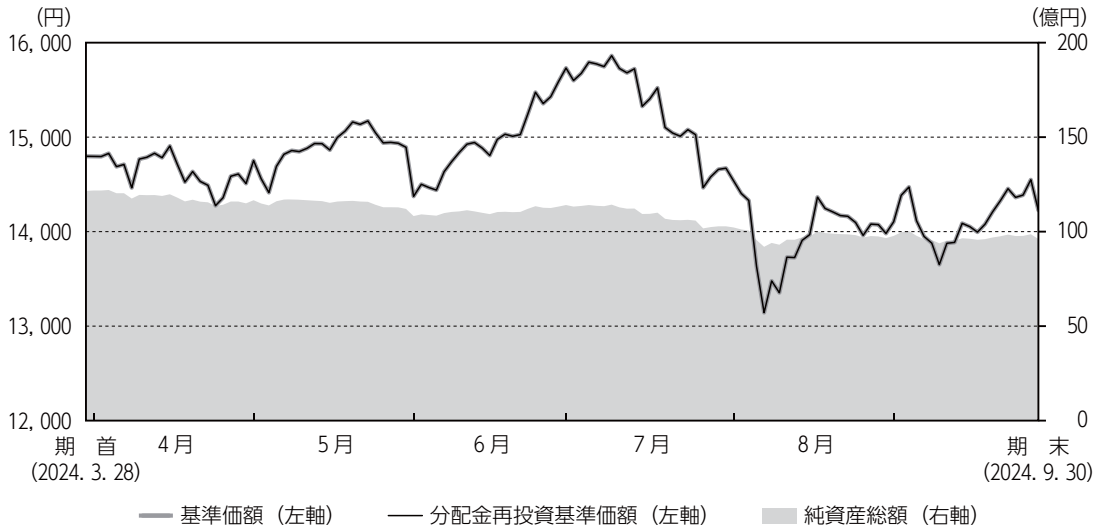
(注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

S & P 500指数は S & P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「S P D J I」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S & P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型) は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：14,798円

期末：14,225円 (分配金0円)

騰落率：△3.9% (分配金込み)

#### 基準価額の主な変動要因

「ポーレン米国株式ファンド」の受益証券を通じて、米国の株式等に投資した結果、主に米

国株式市況が上昇したことがプラスに寄与した一方で、米ドルが円に対して下落 (円高) したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※ポーレン米国株式ファンド：アンカー・ポーレン米国株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数（税引後配当 込み、円換算）		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率	（参考指数）	騰 落 率		
（期 首）2024年 3月28日	14,798	—	18,861	—	0.0	99.2
3月末	14,796	△ 0.0	18,869	0.0	0.0	99.1
4月末	14,753	△ 0.3	19,049	1.0	0.0	99.3
5月末	14,374	△ 2.9	19,493	3.4	0.0	98.8
6月末	15,731	△ 6.3	20,995	11.3	0.0	99.5
7月末	14,535	△ 1.8	19,714	4.5	0.0	98.8
8月末	14,104	△ 4.7	19,279	2.2	0.0	98.7
（期 末）2024年 9月30日	14,225	△ 3.9	19,517	3.5	0.0	99.7

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2024. 3. 29 ~ 2024. 9. 30）

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、インフレ再燃が懸念され米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、下落しました。2024年4月下旬以降は、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が再び高まったことなどから上昇基調となり、高成長が期待されるAI（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引して高値を更新しました。しかし7月中旬以降は、対中輸出規制強化への懸念などから半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかになり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善やFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の実質的な利下げ開始発言などを好感して株価は急反発し、ほぼ当作成期中の高値で当作成期末を迎えました。

### ■ 為替相場

米ドル為替相場は対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日本の金融市場は他国・地域に比べて緩和的な金融環境が続く見通しなどから、円安基調となりました。その後、過度な円安米ドル高進行に対し政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし2024年7月以降は、再び為替介入が実施されたことや、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調が継続しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後も、「ポーレン米国株式ファンド」および「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。また、「ポーレン米国株式ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

## ■ポーレン米国株式ファンド

政府による景気対策や中央銀行による金融政策、投資家の心理、その他多くの要因により、株価は短期的に変動する可能性があります。長期的な株価に関しては、企業の利益成長が大きく影響すると考えています。当ファンドは、「稼ぎ続けるチカラ」が長期的な株価上昇をけん引する、との投資哲学に基づき、短期的な株価変動に惑わされず、長期的に利益成長の持続が見込まれる数少ない銘柄への集中投資を続ける方針です。

## ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2024. 3. 29 ~ 2024. 9. 30)

## ■当ファンド

当ファンドは、「ポーレン米国株式ファンド」および「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、「ポーレン米国株式ファンド」への投資比率を高位に維持しました。

## ■ポーレン米国株式ファンド

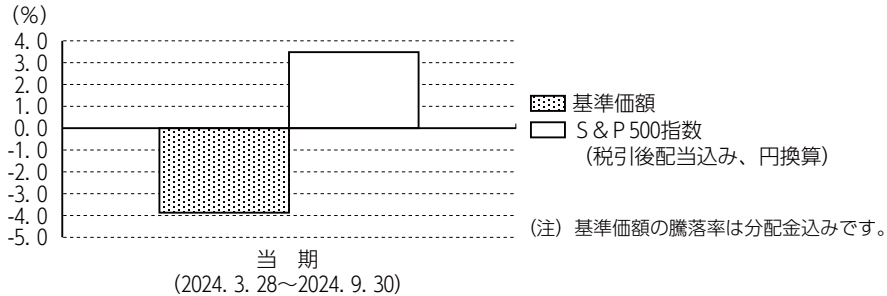
ポーレン社が米国で30年以上にわたり実践し、その有効性を実証してきた独自の投資基準を用いて、利益成長の持続性（稼ぎ続けるチカラ）が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業のデジタル化を促進する先進的ソフトウェアの開発や、決済・広告・流通のテクノロジー・プラットフォームの創出などにより、高い競争優位性を築いているため、中長期的に利益成長を反映した株価上昇を予想し、投資しました。また、景気動向などに左右されにくい事業構造を持つ銘柄も多いため、株式市場の下落局面で下値抵抗力を示すことを期待していました。

## ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年 3月29日 ～2024年 9月30日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	4,330

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、「ポーレン米国株式ファンド」および「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。また、「ポーレン米国株式ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ポーレン米国株式ファンド

米国大統領選挙やF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測など、マクロ経済を取り巻く環境は依然不透明です。しかしながらポーレン社では、引き続きファンド全体で中長期的に年率10～15%程度の利益成長を達成することに自信を持っています。当ファンドは、引き続き、「稼ぎ続けるチカラ」が長期的な株価上昇をけん引する、との投資哲学に基づき、短期的な株価変動に惑わされず、長期的に利益成長の持続が見込まれる数少ない銘柄への集中投資を続ける方針です。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 3. 29~2024. 9. 30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	86円	0.588%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は14,663円です。
（投信会社）	(27)	(0.182)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(58)	(0.392)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	87	0.593	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

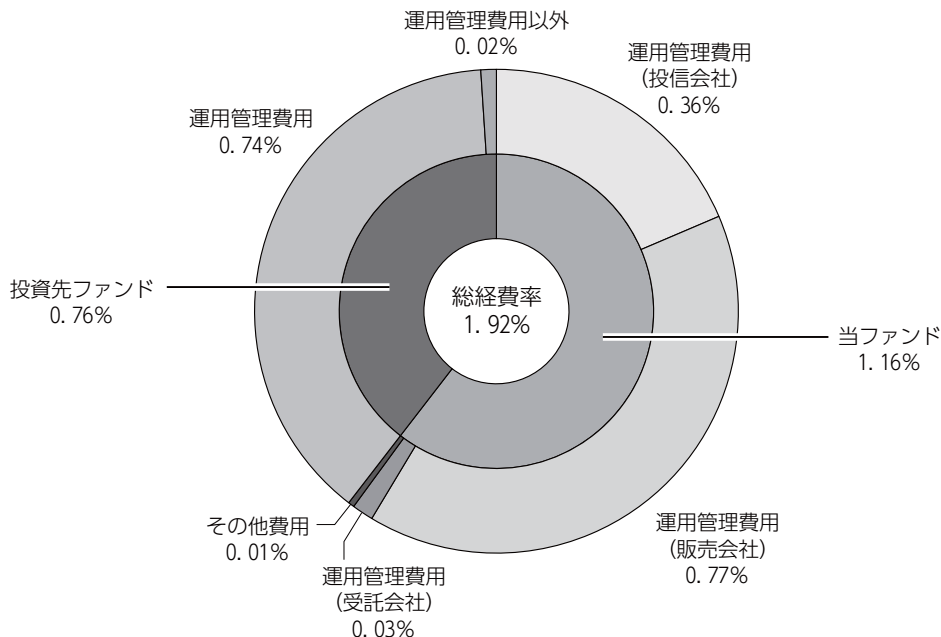
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	1.92%
①当ファンドの費用の比率	1.16%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2024年3月29日から2024年9月30日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アンカー・ポーレン米国株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	千口	千円	千口	千円
		—	—	1,402,020.985	2,164,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
アンカー・ポーレン米国株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	6,452,553.471	9,582,687	99.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年9月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円	%
投資信託受益証券	9,582,687	98.3
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	162,323	1.7
投資信託財産総額	9,745,011	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年9月30日現在

項目	当期末
(A) 資産	9,745,011,966円
コール・ローン等	162,323,808
投資信託受益証券 (評価額)	9,582,687,159
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド (評価額)	999
(B) 負債	131,912,037
未払解約金	67,852,723
未払信託報酬	63,605,072
その他未払費用	454,242
(C) 純資産総額 (A - B)	9,613,099,929
元本	6,758,126,234
次期繰越損益金	2,854,973,695
(D) 受益権総口数	6,758,126,234口
1万口当り基準価額 (C / D)	14,225円

\* 期首における元本額は8,216,694,858円、当作成期間中における追加設定元本額は524,407,393円、同解約元本額は1,982,976,017円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,225円です。

ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型）

■損益の状況

当期 自2024年3月29日 至2024年9月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	96,312円
受取利息	96,312
(B) 有価証券売買損益	△ 327,100,681
売買益	68,468,415
売買損	△ 395,569,096
(C) 信託報酬等	△ 64,059,314
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 391,063,683
(E) 前期繰越損益金	2,175,379,922
(F) 追加信託差損益金	1,070,657,456
(配当等相当額)	( 751,336,341)
(売買損益相当額)	( 319,321,115)
(G) 合計 (D + E + F)	2,854,973,695
次期繰越損益金 (G)	2,854,973,695
追加信託差損益金	1,070,657,456
(配当等相当額)	( 751,336,341)
(売買損益相当額)	( 319,321,115)
分配準備積立金	2,175,384,736
繰越損益金	△ 391,068,497

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	751,336,341
(d) 分配準備積立金	2,175,384,736
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,926,721,077
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,926,721,077
(h) 受益権総口数	6,758,126,234口

<補足情報>

当ファンド（ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2023年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2024年9月30日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄  
公 社 債

(2024年3月29日から2024年9月30日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
1258国庫短期証券 2024/12/23	32,596,486		
1239国庫短期証券 2024/9/24	29,999,850		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2024年9月30日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（54,258,259千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2024年9月30日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	32,600,000	32,596,720	60.0	—	—	—	60.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2024年9月30日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1258国庫短期証券	—	32,600,000	32,596,720	2024/12/23	

(注) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## 運用報告書 第15期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

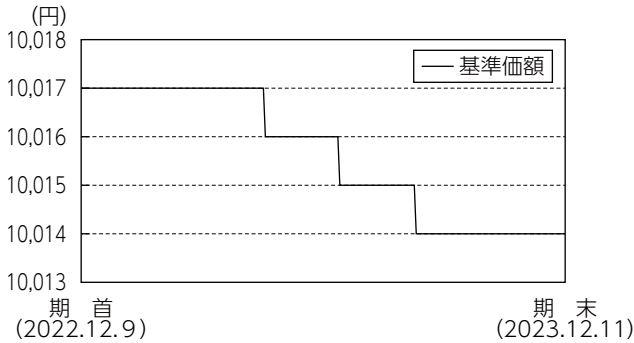
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
	10,017	-	-
12月末	10,017	0.0	-
2023年1月末	10,017	0.0	-
2月末	10,017	0.0	-
3月末	10,017	0.0	-
4月末	10,016	△0.0	-
5月末	10,016	△0.0	-
6月末	10,015	△0.0	-
7月末	10,015	△0.0	-
8月末	10,014	△0.0	-
9月末	10,014	△0.0	-
10月末	10,014	△0.0	-
11月末	10,014	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,014	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,017円 期末：10,014円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	62,664,638	100.0
投資信託財産総額	62,664,638	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	62,664,638,644円
コール・ローン等	62,664,638,644
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A - B)	62,664,638,644
元本	62,579,567,123
次期繰越損益金	85,071,521
(D) 受益権総口数	62,579,567,123口
1万口当り基準価額(C / D)	10,014円

\* 期首における元本額は44,855,160,815円、当作成期間中における追加設定元本額は94,438,728,484円、同解約元本額は76,714,322,176円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ米ドル・フルファンド (適格機関投資家専用)	394,341,311円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	7,178,107,283円
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOF s用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	905,310,638円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,518,511円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,993,906円
ダイワ/パリュウ・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	930,471,926円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	7,916,611,556円
ダイワJ.G.B.ベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	45,246,139,138円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) ブラジル・レアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン ド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米ドル建て高利回り証券α - USトライアングル -	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α - 予想分配金提示型 -	173,802円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,014円です。

## ■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 25,212,071円
受取利息	17,750
支払利息	△ 25,229,821
(B) その他費用	△ 16,282
(C) 当期損益金(A + B)	△ 25,228,353
(D) 前期繰越損益金	78,288,990
(E) 解約差損益金	△121,056,632
(F) 追加信託差損益金	153,067,516
(G) 合計(C + D + E + F)	85,071,521
次期繰越損益金(G)	85,071,521

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資/海外/株式
信託期間	無期限
運用方針	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	アンカー・ポーレン米国株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)
	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド
マザーファンドの運用方法	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※DR(預託証券)、リート(不動産投資信託証券)等を含みます。 1. 主として米国株式等の中から、徹底した個別企業調査を通じて、利益成長の持続性についての確信度が高い銘柄に投資を行います。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対して厳選投資を行います。 3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 4. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 5. ポーレン・キャピタル・マネジメント・エル・エル・シーに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	アンカー・ポーレン米国株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)
	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド
分配方針	1. アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド(以下、「マザーファンド」)の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※DR(預託証券)、リート(不動産投資信託証券)等を含みます。以下同じ。 3. マザーファンドを通じて行う一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしがい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. マザーファンドを通じて行う投資信託証券(上場投資信託は除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 5. デリバティブ取引は、原則として行いません。 1. 株式等への投資割合には、制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 4. デリバティブ取引は、原則として行いません。 収益分配金額は、分配対象額の範囲(経費控除後の配当等収益(マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額(以下「みなし配当等収益」といいます。))および売買益(評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。)等の全額)内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。 尚、留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてペーパーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

# アンカー・ポーレン 米国株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

## 運用報告書(全体版) 第4期(決算日 2024年9月2日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカー・ポーレン米国株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」は、去る2024年9月2日に第4期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先  
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社  
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10  
アークヒルズ石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.northerntrust.jp/

《アンカー・ポーレン米国株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）》

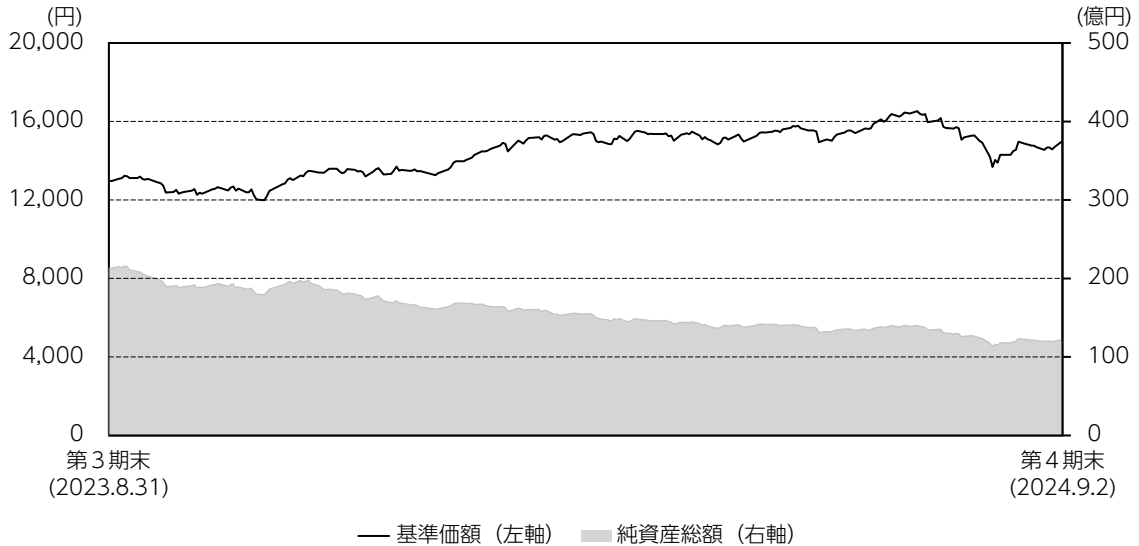
設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	純資産総額
	税込 分配金	期中 騰落率	参考指数 期中 騰落率	参考指数 期中 騰落率			
(設定日) (2021年3月30日)	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	% -	百万円 5,040
1期 (2021年8月31日)	12,268	-	22.7	11,456	14.6	97.7	7,965
2期 (2022年8月31日)	10,617	-	△13.5	12,853	12.2	98.6	20,458
3期 (2023年8月31日)	12,977	-	22.2	15,538	20.9	97.4	21,335
4期 (2024年9月2日)	15,004	-	15.6	19,645	26.4	97.4	12,249

(注) 参考指数としてS&P500 トータル・リターン・インデックス（税引後配当込み、円換算、2021年3月30日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

## 《運用経過》

## 基準価額等の推移について



## ■基準価額・騰落率

期首：12,977円  
 期末：15,004円  
 騰落率：+15.6%

## ■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	16.5%

## ■基準価額の主な変動要因

株式がプラスに寄与したことから、基準価額は上昇しました。株式では、情報技術やコミュニケーション・サービスセクターでの保有銘柄が値上がりしたことが主なプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

アンカー・ポーレン米国株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率
	円	騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2023年 8 月31日	12,977	% -	15,538	% -	% 97.4
9 月末	12,411	△ 4.4	15,153	△ 2.5	98.1
10月末	12,202	△ 6.0	14,688	△ 5.5	99.2
11月末	13,415	3.4	15,798	1.7	97.8
12月末	13,479	3.9	16,030	3.2	98.4
2024年 1 月末	14,861	14.5	17,181	10.6	99.2
2 月末	15,311	18.0	18,078	16.3	98.5
3 月末	15,360	18.4	18,846	21.3	98.8
4 月末	15,333	18.2	19,026	22.4	98.2
5 月末	14,948	15.2	19,469	25.3	93.8
6 月末	16,383	26.2	20,969	35.0	95.1
7 月末	15,145	16.7	19,690	26.7	98.1
8 月末	14,707	13.3	19,256	23.9	97.5
(期 末) 2024年 9 月 2 日	15,004	15.6	19,645	26.4	97.4

(注) 騰落率は期首比。

## 投資環境について

### ○米国株式市況

当期の米国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初は、米連邦準備制度理事会（F R B）による金融引き締めが長期化するとの見方から米長期金利が上昇し、割高感が意識されたハイテク株を中心に下落しました。その後2023年末にはF R Bによる早期利下げ観測が広がり、株式市場は反発したものの、2024年に入りこうした観測が後退するなど、期末まで利下げを巡る思惑の変化が株式市場に影響を及ぼす市場環境となりました。その一方で、底堅い米景気や良好な企業決算を背景に、米国経済のソフトランディングへの期待感が支えとなったことで、全体としては上昇基調で推移しました。

### ○為替相場

当期の米ドル円相場は、変動が大きくなったものの、ほぼ横ばいとなりました。期初から2023年11月にかけては、根強い円売り圧力から1米ドル150円を上回る水準まで円安米ドル高が進みました。その後2023年末にかけては、F R Bによる早期利下げ観測を受け、1米ドル141円台まで大きく円高米ドル安が進展しました。2024年以降は、こうした観測の後退や、日銀がマイナス金利政策の解除などを決めたものの、ハト派的と受け止められたこと等から再び円が売られる展開となり、2024年6月には1米ドル161円台を付けました。期末にかけては、F R Bの利下げ・日銀の追加利上げ観測を背景に、日米金利差の縮小が進むとの見方が広がったことで、期初と同水準の1米ドル146円台まで急速に円が買われる展開となりました。

## 前期における「今後の運用方針」

「アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド」の受益証券への投資を行います。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

「アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。

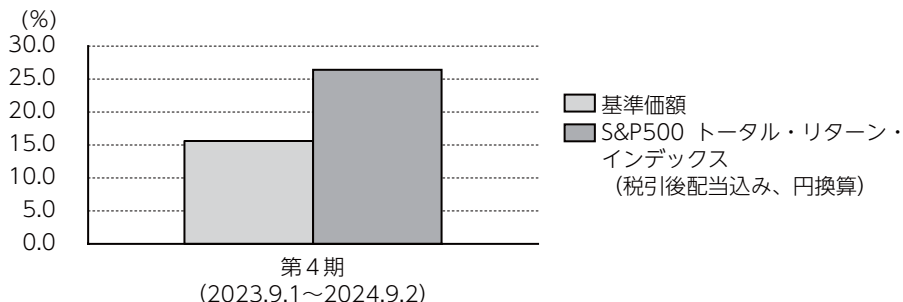
### ○アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド

ポーレン社が米国で30年以上にわたり実践し、その有効性を実証してきた独自の投資基準を用いて、利益成長の持続性（稼ぎ続けるチカラ）が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業のデジタル化を促進する先進的ソフトウェアの開発や、決済・広告・流通のテクノロジー・プラットフォームの創出などにより高い競争優位性を築いているため、中長期的に利益成長を反映した株価上昇を予想しています。また、景気動向などに左右されにくい事業構造を持つ銘柄も多いため、株式市場の下落局面で下値抵抗力を示すことを期待しています。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は米国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年9月1日 ～2024年9月2日	
当期分配金（税込）（円）		0
対基準価額比率（％）		－
当期の収益（円）		－
当期の収益以外（円）		－
翌期繰越分配対象額（円）		5,242

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

「アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ○アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド

米大統領選挙や米連邦準備制度理事会（F R B）の利下げ観測など、マクロ経済を取り巻く環境は依然不透明です。しかしながらポーレン社では、引き続きファンド全体で中長期的に年率10～15%程度の利益成長を達成することに自信を持っています。当ファンドは、引き続き、「稼ぎ続けるチカラ」が長期的な株価上昇をけん引する、との投資哲学に基づき、短期的な株価変動に惑わされず、長期的に利益成長の持続が見込まれる数少ない銘柄への集中投資を続ける方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第4期		項 目 の 概 要
	(2023.9.1~2024.9.2)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	107円	0.749%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は14,348円です。</b>
(投信会社)	(103)	(0.721)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(4)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	1	0.009	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.009)	
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	3	0.020	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	111	0.778	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



■売買及び取引の状況

(2023年9月1日から2024年9月2日まで)

投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	226,466	341,500	8,429,225	12,142,092

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年9月1日から2024年9月2日まで)

項 目	当 期	
	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	19,495,425千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,970,964千円	
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.30	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2024年9月2日現在)

	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	16,180,937	7,978,178	12,275,225	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2024年9月2日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	12,275,225	99.6
コール・ローン等、その他	50,008	0.4
投資信託財産総額	12,325,233	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月2日における邦貨換算レートは、1米ドル＝146.24円です。

(注3) アンカー・ポーレン米国株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(12,272,198千円)の投資信託財産総額(12,325,793千円)に対する比率は99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年9月2日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	12,325,233,376円
コール・ローン等	8,079
アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド(評価額)	12,275,225,297
未収入金	50,000,000
(B) 負債	75,447,035
未払解約金	50,000,000
未払信託報酬	24,677,035
その他未払費用	770,000
(C) 純資産総額(A - B)	12,249,786,341
元本	8,164,488,628
次期繰越損益金	4,085,297,713
(D) 受益権総口数	8,164,488,628口
1万口当り基準価額(C / D)	15,004円

\* 期首における元本額16,441,669,528円、当期中における追加設定元本額229,721,219円、同解約額8,506,902,119円

\* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1,5004円です。

■損益の状況

当期(自2023年9月1日 至2024年9月2日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	1,734,178,892円
売買益	2,566,105,016
売買損	△ 831,926,124
(B) 信託報酬等	△ 118,508,545
(C) 当期損益金(A + B)	1,615,670,347
(D) 前期繰越損益金	1,485,782,682
(E) 追加信託差損益金(配当等相当額)	983,844,684 ( 1,178,670,392)
(F) 合計(C + D + E)	4,085,297,713 (△ 194,825,708)
次期繰越損益金(F)	4,085,297,713
追加信託差損益金(配当等相当額)	983,844,684 ( 1,178,830,619)
(売買損益相当額)	(△ 194,985,935)
分配準備積立金	3,101,453,029

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程

計算期間末に、費用控除後の配当等収益額55,669,096円(1万口当り68.18円)、有価証券売買等損益1,560,001,251円(1万口当り1,910.72円)、収益調整金額1,178,830,619円(1万口当り1,443.85円)及び、分配準備積立金額1,485,782,682円(1万口当り1,819.81円)から分配対象収益額は4,280,283,648円(1万口当り5,242円)となりますが、分配を行いませんでした。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※DR（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）等を含みます。
運用方法	1. 主として米国株式等の中から、徹底した個別企業調査を通じて、利益成長の持続性についての確信度が高い銘柄に投資を行います。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対して厳選投資を行います。 3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 4. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 5. ポーレン・キャピタル・マネジメント・エル・エル・シーに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には、制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 4. デリバティブ取引は、原則として行いません。

# アンカー・ポーレン 米国株式マザーファンド

## 運用報告書

第4期（決算日 2024年9月2日）

### 受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド」は、去る2024年9月2日に第4期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先  
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社  
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10  
アークヒルズ仙石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

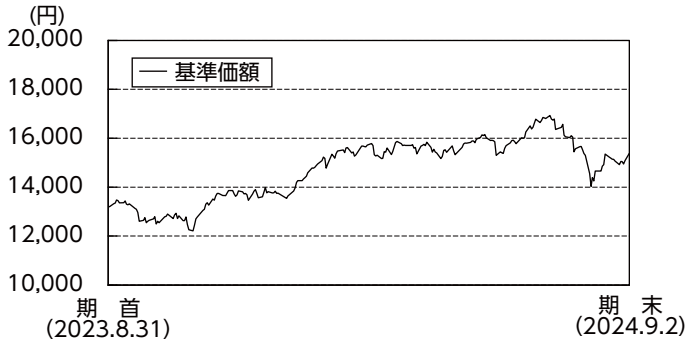
ホームページ：www.northerntrust.jp/

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率 %		期中騰落率 %		
(設定日) (2021年3月30日)	10,000	—	10,000	—	—	百万円 5,040
1期 (2021年8月31日)	12,319	23.2	11,456	14.6	97.6	7,978
2期 (2022年8月31日)	10,732	△12.9	12,853	12.2	98.4	20,497
3期 (2023年8月31日)	13,212	23.1	15,538	20.9	97.2	21,378
4期 (2024年9月2日)	15,386	16.5	19,645	26.4	97.2	12,275

(注) 参考指数としてS&P500 トータル・リターン・インデックス (税引後配当込み、円換算、2021年3月30日を10,000とする。) を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率
	円	騰落率 %		騰落率 %	
(期首) 2023年8月31日	13,212	—	15,538	—	97.2 %
9月末	12,644	△ 4.3	15,153	△ 2.5	98.0
10月末	12,439	△ 5.9	14,688	△ 5.5	99.0
11月末	13,682	3.6	15,798	1.7	97.6
12月末	13,756	4.1	16,030	3.2	98.4
2024年1月末	15,175	14.9	17,181	10.6	99.0
2月末	15,643	18.4	18,078	16.3	98.3
3月末	15,702	18.8	18,846	21.3	98.8
4月末	15,685	18.7	19,026	22.4	98.0
5月末	15,301	15.8	19,469	25.3	93.7
6月末	16,779	27.0	20,969	35.0	95.1
7月末	15,520	17.5	19,690	26.7	98.0
8月末	15,081	14.1	19,256	23.9	97.3
(期末) 2024年9月2日	15,386	16.5	19,645	26.4	97.2

(注) 騰落率は期首比。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：13,212円 期末：15,386円 騰落率：+16.5%

#### 【基準価額の主な変動要因】

株式がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、情報技術やコミュニケーション・サービスセクターでの保有銘柄が値上がりしたことが主なプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

### ◆投資環境について

#### ○米国株式市況

当期の米国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初は、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融引き締めが長期化するとの見方から米長期金利が上昇し、割高感が意識されたハイテク株を中心に下落しました。その後2023年末にはFRBによる早期利下げ観測が広がり、株式市場は反発したものの、2024年に入りこうした観測が後退すると、その後も利下げを巡る思惑の変化が株式市場に影響を及ぼす市場環境となりました。その一方で、底堅い米景気や良好な企業決算を背景に、米国経済のソフトランディングへの期待感が支えとなったことで、全体としては上昇基調で推移しました。

#### ○為替相場

当期の米ドル円相場は、変動が大きくなったものの、ほぼ横ばいとなりました。期初から2023年11月にかけては、根強い円売り圧力から1米ドル150円を上回る水準まで円安米ドル高が進みました。その後2023年末にかけては、FRBの利上げ終了観測を受け、1米ドル141円台まで大きく円高米ドル安が進展しました。2024年以降は、FRBの早期利下げ観測の後退や、日銀がマイナス金利政策の解除などを決めたものの、ハト派的と受け止められたこと等から再び円が売られる展開となり、2024年6月には1米ドル161円台を付けました。さらにその後、期末にかけては、FRBの利下げ・日銀の追加利上げ観測を背景に、日米金利差の縮小が進むとの見方が広がったことで、期初と同水準の1米ドル146円台まで急速に円が買われる展開となりました。

### ◆前期における「今後の運用方針」

足元ではインフレが沈静化の傾向にあり、FRBは利上げペースを調整していることから、株式市場の注目点は個別の企業業績に移行しており、当ファンド保有銘柄が持つ利益成長の持続性、すなわち「稼ぎ続けるチカラ」が評価されると期待しています。当ファンドは、引き続き、「稼ぎ続けるチカラ」が長期的な株価上昇をけん引する、との投資哲学に基づき、短期的な株価変動に惑わされず、長期的に利益成長の持続が見込まれる数少ない銘柄への集中投資を続ける方針です。

### ◆ポートフォリオについて

ポーレン社が米国で30年以上にわたり実践し、その有効性を実証してきた独自の投資基準を用いて、利益成長の持続性（稼ぎ続けるチカラ）が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業のデジタル化を促進する先進的ソフトウェアの開発や、決済・広告・流通のテクノロジー・プラットフォームの創出などにより高い競争優位性を築いているため、中長期的に利益成長を反映した株価上昇を予想しています。また、景気動向などに左右されにくい事業構造を持つ銘柄も多いため、株式市場の下落局面で下値抵抗力を示すことを期待しています。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は米国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+16.5%、+26.4%となりました。

## 《今後の運用方針》

米大統領選挙や米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測など、マクロ経済を取り巻く環境は依然不透明です。しかしながらポーレン社では、引き続きファンド全体で中長期的に年率10～15%程度の利益成長を達成することに自信を持っています。当ファンドは、引き続き、「稼ぎ続けるチカラ」が長期的な株価上昇をけん引する、との投資哲学に基づき、短期的な株価変動に惑わされず、長期的に利益成長の持続が見込まれる数少ない銘柄への集中投資を続ける方針です。

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
(a) 売買委託手数料 (株式)	1円 (1)
(b) 有価証券取引税	-
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合計	3

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数

(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

## ■売買及び取引の状況

(2023年9月1日から2024年9月2日まで)

## 株式

	買		付		売		付	
	株数	金額	株数	金額	株数	金額	株数	金額
	百株	千米ドル	百株	千米ドル	百株	千米ドル	百株	千米ドル
アメリカ	1,343	26,606	5,005	103,555				
	(-)	(-)	(-)	(-)				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年9月1日から2024年9月2日まで)

項目	当	期
	アンカー・ポーレン米国株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	19,495,425千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,970,964千円	
(c) 売買高比率 (a)/(b)	1.30	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産の明細

(2024年9月2日現在)

## 外国株式

銘柄	前期末		当		業	種	等
	株数	株数	期				
			末				
		外貨建金額	邦貨換算金額	評価額			
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円			
AMAZON.COM INC	1,006	451	8,063	1,179,240	一般消費財・サービス流通・小売		
ABBOTT LABORATORIES	512	339	3,849	562,898	ヘルスケア機器・サービス		
ADOBE INC	173	82	4,723	690,830	ソフトウェア・サービス		
APPLE INC	-	187	4,302	629,257	テクノロジー/ハードウェア/半導体		
AUTODESK INC	215	-	-	-	ソフトウェア・サービス		
SALESFORCE INC	330	-	-	-	ソフトウェア・サービス		
ELI LILLY AND CO	275	13	1,313	192,058	医薬/化学/バイオ/バイオ医薬		
MICROSOFT CORP	275	188	7,871	1,151,057	ソフトウェア・サービス		
ILLUMINA INC	204	-	-	-	医薬/化学/バイオ/バイオ医薬		
NIKE INC -CL B	262	-	-	-	耐久消費財・アパレル		
ALIGN TECHNOLOGY INC	54	-	-	-	ヘルスケア機器・サービス		
NETFLIX INC	280	52	3,698	540,827	メディア・娯楽		
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	83	73	4,501	658,238	医薬/化学/バイオ/バイオ医薬		
UNITEDHEALTH GRP INC	106	53	3,135	458,483	ヘルスケア機器・サービス		
MASTERCARD INC - A	191	94	4,589	671,141	金融サービス		
MSCI INC	-	58	3,383	494,744	金融サービス		
VISA INC-CLASS A SHARES	296	180	5,000	731,252	金融サービス		
ACCENTURE PLC-CL A	190	94	3,244	474,514	ソフトウェア・サービス		
SERVICENOW INC	167	58	5,036	736,582	ソフトウェア・サービス		
WORKDAY INC-CLASS A	140	110	2,910	425,687	ソフトウェア・サービス		
ZOETIS INC	219	157	2,897	423,702	医薬/化学/バイオ/バイオ医薬		
AIRBNB INC-CLASS A	471	234	2,755	403,032	消費者サービス		
SHOPIFY INC - CLASS A	-	459	3,400	497,242	ソフトウェア・サービス		
ALPHABET INC-CL A	846	424	6,934	1,014,173	メディア・娯楽		
PAYPAL HLDG INC	950	-	-	-	金融サービス		
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,980 21銘柄	3,318 19銘柄	81,612 -	11,934,963 -<97.2%>		
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,980 21銘柄	3,318 19銘柄	- -	11,934,963 -<97.2%>		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 業種はGICS分類(産業グループ)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■投資信託財産の構成

(2024年9月2日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	11,934,963	96.8
コール・ローン等、その他	390,830	3.2
投資信託財産総額	12,325,793	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月2日における邦貨換算レートは、1米ドル=146.24円です。

(注3) 当期末における外貨建資産（12,272,198千円）の投資信託財産総額（12,325,793千円）に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年9月2日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	12,388,892,981円
コール・ローン等	386,620,414
株式（評価額）	11,934,963,805
未収入金	63,099,529
未収配当金	4,209,233
(B) 負債	113,609,171
未払金	63,609,171
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	12,275,283,810
元本	7,978,178,407
次期繰越損益金	4,297,105,403
(D) 受益権総口数	7,978,178,407口
1万口当り基準価額(C/D)	15,386円

\* 期首における元本額16,180,937,681円、当期中における追加設定元本額226,466,153円、同解約額8,429,225,427円

\* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカー・ポーレン米国株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）7,978,178,407円

\* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.5386円です。

■損益の状況

当期（自2023年9月1日 至2024年9月2日）

項 目	当 期
(A) 配当等収益	77,895,169円
受取配当金	67,078,876
受取利息	10,816,293
(B) 有価証券売買損益	2,622,104,761
売買益	3,319,247,743
売買損	△ 697,142,982
(C) 信託報酬等	△ 2,229,954
(D) 当期損益金(A + B + C)	2,697,769,976
(E) 前期繰越損益金	5,197,168,280
(F) 追加信託差損益金	115,033,847
(G) 解約差損益金	△ 3,712,866,700
(H) 合計(D + E + F + G)	4,297,105,403
次期繰越損益金	4,297,105,403

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。